

再见！ 江尻さん

江尻健二さん（倉石中国語講習会第37期生、元日中学院副学院長）が亡くなられた、享年84歳。生前のご遺志により、葬儀等は行わず、ご遺体はある会を通じ献体されたとのこと。江尻さん逝去の報を聞き、日中学院の現旧教職員、同学、校友会、華僑のみなさん、更にはヒマラヤ協会の方々等、多くの方々がそれぞれの江尻さん像を思いだしています。日中学院を退職後、千葉館山にお住まいでしたが、そのお宅を訪れた方は400名を超えているとお聞きしています。

江尻さんは、1960年に日中学院の前身である倉石中国語講習会に入学、講習会の事務局専従、日中学院事務局での勤務を経て、藤堂、安藤学院長のもとで副学院長を務められ、1994年に退職。「(私は)学生だけの時期も含めると34年間在籍していたんですね。そのうち33年は、善隣というか日中友好会館というか、いさかいというかいろいろありました。」と学院報のインタビューに答えておいでです。

江尻さんは、「記録魔」でした。手帳、事務局の日記帳、『中国へかける橋』、『学院報』等にご自身の考え、学院の歴史、証言等多くの記録を残されました。

日中友好運動分裂の中でおこり日中学院が教室を失うことにもなった「善隣学生会館事件」（1967年3月）について、「小ぜりあいがつづくなかで、ついに3月2日、昨年までは「日中不再戦」を誓った日本人青年が「日中友好」と書いたヘルメットをかぶり、消火器、棍棒などをもち、無防備の中国人学生（在日華僑子弟）に襲いかかったのです。私はこの目で見たのです。」と江尻さんは証言されています。

現在も続く学院の会計公開について、「内山さん（内山書店）に入るときにも、新校舎を建てるときのカンパも全部御芳名名簿として残してありますが、日中学院が存続する限りはその方々に会計報告は欠かさず送付はお願いしたいですね。それらのカンパがなければ、今の日中学院はなかったのですからです。」と述べられています。

退職して6年目、江尻さんは北京語言大学へ半年間の短期留学を実現させます。その留学便りの中で「40年前には、夢にさえみられなかった中国留学が果たせ、穏やかな気持ちで中国の人々とおつきあいができております。しかし、いつ、いかなる場所でも、日中侵略時の傷あとを見ることが避けることはできませんでした。」「学院の建学の精神は、中国に対する侵略を反省する中から、生まれた講座だったわけですから、その精神を失わないように、学院としての方向性を持つことが必要だと思います」と述べ、「日中学院、創立の精神である“日本の中国侵略を反省し、日中不再戦を誓う”を忘れず、“学好中国话、为日中友好起桥梁作用”をつづけて参りたいと思います。」と綴っておいででした。



ご家族との話し合いで延命治療は受けず、2017年10月5日 永眠。
ありがとうございました 江尻さん、再见！ 前学院長 吉田隆司
「江尻さんをしのぶ会」が開かれる予定です。学院にお問い合わせください。

学好中国话、为日中友好起桥梁作用！

日中学院報

2017年12

毎月1回1日発行 第513号

編集発行人・片寄浩紀

定価1部100円/1年1000円(送料)
郵便振替 東京 00100-38184

〒112-0004 東京都文京区後楽1-5-3
TEL 03-3814-3591 FAX 03-3814-3590
URL <https://www.rizhong.org/>
E-mail info@rizhong.org



中国結び講座 作品展(入口にて)

A 先生の新語コーナー



liǎng ge shíwǔ nián “两个十五年”

「二つの15年」。2段階に分けて社会主義強国を目指す構想。習近平氏が10月の第19回党大会報告で明らかにした。第1段階は2020年から2035年までで、小康（ややゆとりのある社会の全面的完成を踏まえ、社会主義近代化を基本的に実現する。この段階で「経済力と科学技術力が大幅に向上し、中所得層の割合が著しく増える」。第2段階は2035年から今世紀中葉までで、さらに15年奮闘し、社会主義近代化強国を築き上げ、「世界最高水準の総合国力を持つ」としている。(A)

専任講師として、本科や別科で長きにわたり教鞭をとられた平松正子先生が、11月5日にご逝去されました。享年80歳。ご冥福をお祈りいたします。

今日惊闻平松老师去世的噩耗，悲戚万分！

我作为日中学院第七期留学生（94年毕业），是在日语科上学时通过和本科、别科同学的交流会上第一次认识了平松老师。日中学院毕业后，当年的5月份左右事务局的老师打电话给我有没有意向做别科的‘非常勤教师’，我非常兴奋的接受了这个工作。

对于没有教学经验的我，做老师不是马上可以做的，刚开始的时候，我是先和平松老师的别科课堂做‘帮助’，其实也是学习教学的方法。经过了半年时间，终于可以正式执教，和平松老师搭档一起教别科A班。说是搭档，其实是有着丰富教学经验的老师在培养一个完全没有基础的‘新米教师’，放低几个水平不厌其烦的对我进行‘传帮带’。所以从始至终在我心里一直是把平松老师当做自己的恩师的。后来也了解到了让一个刚刚毕业的留学生做别科老师是平松老师的提议，也是以前没有的尝试。

老师有着特殊人格魅力的（カリスマ性の持ち主），现在流行的说法是‘气场强大’。无论是教学的时候，还是早稻田合宿晨早练习发音的时候，还是放学后和同学们在‘辰巳屋’喝酒聊天的时候。现在想想除了学习中文之外，平松老师的班级里应该还有很多是平松老师的粉丝同学吧，当然这也包括我。

我96年结婚的时候平松老师也特意不辞万里和几位老师同学特意赶到哈尔滨。想起这一幕幕和老师共事和得到教诲的日子，老师的音容笑貌都像昨日之事浮现在眼前。

最后一次见老师是3年前的老师家里，一起去的还有金子广幸老师，小田富裕子老师，关同学和我，大家去了老师家附近的中国菜馆‘同心居’。

写此小文以追思平松老师，谢谢老师，愿老师安息！

富红代 2017.11.08



2016年日中学院文化祭にて



2017年 日中学院文化祭 10月21日(土)

本科1年 大須賀鵬 模擬店展示統括リーダー

僕は模擬店・展示チームのリーダーを務めました。

模擬店・展示チームは各団体が開く模擬店、及び教室を使用する展示団体の全体統括を行います。

文化祭前は主に、各団体から上がってきた企画書の統括、調理室の利用時間の決定、模擬店の場所や当日の設営箇所の決定をしました。文化祭中は楽しかったですが文化祭後の片付けでは、ゴミがバラバラにゴミ箱に捨てられていたので、それを分別するのが大変でした。皆さんに設営、片付けを手伝ってもらったので予想以上に早く終わりました。

本科2年 吉田活世 舞台統括リーダー

私たち舞台統括は、演目プログラムの作成、司会原稿の取り纏め、舞台設営、当日の舞台運営を担当しました。

活動を始めた当初は、解らない事だらけで例年のスケジュールと比べて出遅れたのですが、積極的に仕事を見つけ前向きに取り組んで行くメンバーだったので、最後は余裕を持って文化祭当日を迎えられました。

と言っても、後半は連日学校に残って作業でしたので本当に大変だったと思います。



日本語科1-1



日本語科1-2

私はリーダーをやらせて頂き、今迄で一番心に残る文化祭になりました。当日残念ながら天候に恵まれませんでした。ご来場頂いたお客様と、ずっと優しく見守って下さった先生方事務局の方にも感謝です。

本科1年 濱田馨子 広報リーダー

広報の仕事は、文化祭プログラムやポスターの作成、管理と書店や外部への広報活動が主な仕事です。今年の広報係は3人で、それぞれが制作、管理、広報活動と分担して活動しました。

また、ごみの捨て方に関する掲示物の作成も行いました。

当日屋台で売られる商品から出るごみを調べ、種類で分け、日本語・中国語両方を併記、分かりにくいと思われる物には現物を貼ることで、捨てる際の疑問が出ないように工夫しました。係や委員の枠を超え、沢山の方に手伝って頂き、満足のいく掲示物が出来上がりました。当日の評判も上々だったと聞き、嬉しい限りです。この場を借り関わって下さった皆様に御礼申し上げます。

本科2年 中越美翔 全体機材・設営リーダー

機材の主な仕事は上演中に使用するスポットライトなど学院にないものをレンタル会社などに外部発注したり、学院の倉庫にある衣装や小道具を管理をすることです。その他出演団体が使用予定の机や椅子などを一覧表にするなどの資料作成も行います。

私は今まで実行委員というものをやったことがなかったので、最初はできるかどうか不安に思いましたが、周りのサポートのおかげで地道に仕事をを行うことができました。自分にとっていい経験になったと思います。



日本語科2年



本科1年



ピースリーディング



本科2年



本研



学院での模擬店

前号に引き続き、サミュエル周先生の講演会についてご報告します。

サミュエル周先生ワークショップ (2017.08.05) (前号より)

第二部では事前に選出した9名の希望者を対象に、通訳の実践体験を行いました。

まずは中文日訳。中国語を聞いて日本語に通訳するというものです。今回使用の内容は北京を紹介する観光案内なので、多少ガイド的な要素を持ちます。9人の模擬通訳者は、読み上げられる中国語を聞いて、日本語に逐次通訳します。内容を3分割し、3人ずつ同じ段落を訳します。聴衆は原稿が配布されるので、それを見ながら3人の通

訳者の訳し方などを評価します。

今回の通訳の際に、話題となったポイントとしては、まず通訳者の好感度です。通訳者が聴衆を考えて訳したかどうか、また態度や言葉遣いなどから判断して、今後も雇いたい魅力があるかどうかなどが評価されました。また内容を全部過不足なく訳出したか、ノートテイキングできたかどうかも大きなポイントでした。

“当局者迷, 旁观者清”というように、他人の通訳

を聴くときは落ち着いて聞けるものです。他の人の訳を聞くと、単語や表現など今後の参考にできずし、うまい訳ならば、盗むのも良いと思います。当然ですが、プロは「メモをとれなかった」というような言い訳はできません。とはいえ、すべてノートするのは大変ですから、歴史的、文化的な知識や中国映画などの作品名に至るまで一般教養として先に身につけておき、数字や中心的な話題のみ記憶及びメモでおさえて、なるべくノートを取らなくて済むようにすればノートテイキングの無駄が省けます。ノートを取らないことで、時間の余裕が生まれ、考える余裕を作ることができます。しかし、なんとなく「知っているつもり」と思える内容の場合は、却って聞き落としてしまうので丁寧に訳出しましょう。

ノートを取っても自分のメモが読めない、再現できないということが起こらないようにするためには、記号化する、例えば「中国」はC、「日本」はNにするなども必要です。すべて漢字や文で書いているのではスピーカーの話す速度についていけません。

通訳が訳す時間がスピーカーの話した時間をはるかに超えているのはよくありません。ですから、余計な訳、重複する訳、蛇足となる訳、説明に過ぎる訳は時間の無駄であると考え、訳し方、言葉の選び方に気をつけましょう。

通訳は必ず批判を受けるものです。心構えとしては堂々としていることが肝心です。

次に日文中訳、日本語から中国語という通訳を、原宿をガイドする内容を使用して行いました。参加者を2グループに分け、各グループは読み上げられた文章を聞いた後、グループ内で相談（5分間）して訳文を作り、代表が発表します。辞書などは用いず、自力で訳文を作ります。

ここでは、中国語で通訳するので、発音、話し方が重要であると同時に、声の大きさや前回同様お客様のケアができているかをチェックしました。中国語で訳出するにもかかわらず、「えーと」と途中で言うてしまうのは、おそらく日本語で考えて中国語に訳しているからでしょうか。「えーと」は中国語ではありませんから、どうせなら“这个”を使いましょう。

中国人に対しては4文字熟語や中国語らしい

言いまわしを使えると、通訳者への評価・印象は高くなると言えます。成語や諺も身につけたい

ところでは。

日本語を中国語に訳出する際に、似た言葉の双方の言語的イメージや語感の違い（プラスイメージかマイナスイメージか）などを考えましょう。例えば、今回の原宿の説明に「一見すると雑然とした」という言葉がありました。この「雑然」をどう訳すかですが、“杂乱”と言ってしまうと、“乱”があるため、少々マイナスなイメージを与えます。というようなことを考えると“看起來有点儿杂”ではないかと考えられます。中国語は2文字以上の単語がすわりがいいので、2音節の単語にしたいと思われるでしょうが、中国語の漢字一文字の情報量は非常に多いので1文字にする勇氣も必要です。

本来スピーカーが言う内容を忠実に通訳し、言わないことは通訳すべきではないのですが、場合によっては、聞き手の理解への配慮として、少し説明的な内容を入れる必要があります。例えば、法廷通訳、医療、美容など専門性の高い話を通訳する場合、特に自分がその知識にすぐれ、かつ話し手の言葉が一般にはわかりにくい場合、「コンサルテーション通訳」として話を一般にわかるよう説明的に訳すことが必要です。それができるくらい周辺事情などの調査・理解は重要です。また、聞き手への配慮という意味では、通訳者は自らの好き嫌いでなく、淡々と下調べをし、通訳し、通訳の現場で満足してもらえるよう努力することが重要です。

余談ですが、このように通訳者は頭や神経をかなり使うので、ポケットにチョコレートなどを入れていて、脳に栄養を与えていることもよく見られます。

AI時代の到来で人的通訳は消滅してしまうかもしれないとお話しましたが、将来、プロの専門的通訳はその範囲を限られて、AIに任せられるところも出て来る可能性はあると考えることができます。ただ、人がやる価値、人が通訳する空気感は貴重なもので、やはり人を介する通訳は残るだろうとは思いますが、そのためにはスキルや特徴を磨いて魅力ある通訳を目指すべきだと思われます。(完) (編集記述：高木)



師走に なってもまだ熱い

今年夏、目利きの老師たちが北京からどっさり購入してきた本たちは、まだ熱気に溢れています。今月はそのなかでも、特に好評の本やおすすめ本をご紹介します。

●『观复猫 博物館の猫馆长』 马未都著 中信出版社



「俺もこれ借りたよ」と意外な某男老師の言葉にびっくり。犬派でも思わず可愛い〜っと叫びたくなる观复博物館の館長務めをする6匹の猫。猫たちに案内されて博物館を一周できる写真集。

●『台湾民宿之美』 叶锦鸿著 广东旅游出版社



この本を開いて決心した。(台湾に行ったら)もう、ホテルには泊まらないぞ!

そこには優雅で閑静な佇まいの宿や、遊び心たっぷりの宿、土着民になって永住してしまいうような宿、マーメイドになってロマンティックに夕陽を仰ぎながら泳ぎたくなる宿等々・・・台湾全土から45件を紹介!

●『不如任性过生活』『今天也要好好吃饭』『没有什么了不起』 蔡澜著 北京时代华文书局

映画人、美食家、作家、主宰者などの肩書を持つ著者は年をとっても若者のように自由に人生を楽しむことがモットーのようだ。そんな氏を彷彿とさせるエッセーも、短文で読みやすい。さらに本書を盛り上げる**苏美璐**の挿絵は才能豊か。ユーモラスなタッチで彩り豊かに逞しく描かれた画を見るだけでも楽しい。



●『暗算』 麦家著 北京十月文艺出版社

連続テレビドラマでは『暗算』が一番好きという十年來のファンが大喜びしたのがこの小説。国民党と共産党の内戦におけるスパイ暗躍のスリルや暗号解読の苦闘を著している。ドラマでは柳云龙、王宝强が主演で高い評価を得た。ちなみに当ドラマもDVDで図書室に所蔵している。

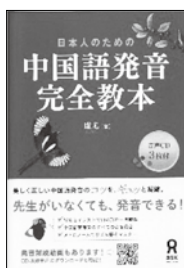
— 新着図書 —

(著者、出版社省略)

- ・『全訳 封神演義』第1巻
- ・『新次元の日中関係』
- ・『台湾行ったらこれ食べよう!』
- ・『台湾行ったらこれ食べよう! 駅弁・鉄道旅編』
- ・『日中中日翻訳必携 実践編II』
- ・『知日 東京就是日本』
- ・『知中 孙子兵法指南書』

— 寄贈図書 —

本学院の先生方よりご寄贈がありました。ありがとうございます。



●盧尤老師 (著者) より

『日本人のための 中国語発音完全教本』 盧老師ナレーションの音声CD 3枚付。発音解説動画もあります。

●みなみりょうこ先生より

- 『学做中国结・简而易学篇』
- 『学做中国结・饰品篇』
- 『胡波新式中国结』

星期日	星期一	星期二	星期三	星期四	星期五	星期六
					1 ●本科1次入試受付締切 ●別科公開講座 18:45～(入門・基礎)	2 ●本研学内推薦
3 ●1日集中講座 ●本科1次入試 ●日本語能力試験	4	5 ●本科1次合格発表	6 ●本科2次募集受付開始	7	8 ●日本語科小石川庭園散策	9 ●別科公開講座 13:00～(入門・基礎)
10	11	12	13	14 ●本科定期試験(～20日)	15	16
17	18	19	20 ●本科・日本語科2学期最終日	21 ●本科・日本語科冬休み開始(～1/9)	22 ●267期別科最終日	23 ●祝日
24/31	25 ●仕事納め	26 ●閉門(～1/5)	27	28	29	30
●1月の日中学院 ・6日…仕事始め・開門 別科公開講座 13:00～(入門・基礎) ・9日…別科公開講座 18:45～(入門)		・10日…本科・日本語科 授業再開 別科268期授業開始 ・15日…中国語検定受付開始 ・17日…日本語科 国会見学(2年)		・20日…劉文兵先生講演会 13:00～ ・21日…本科2次入試 ・24日…本科3次入試受付開始 ・27日…本科生のため公開講座		

日中学院校友会 中国旅行のご案内

例年多くの方にご参加いただいております、日中学院校友会中国旅行は、今年度は3月末に長江三峡クルーズに出かけます。日本からの添乗員も同行します。12月中旬から受付を開始します。詳しいパンフレットをご希望の方は、校友会HPをご覧ください。お電話にてお申し込みください。

日中学院校友会事務局

tel:03-3814-3051

HP: <http://koyukai.boj.jp/>

この秋より校友会HPがリニューアルしました!

日中学院校友会は、卒業生や旧教職員を中心とした組織です。中国旅行の他に、留学生との交流活動、講演会や日中学院文化祭への参加などの活動を行っています。詳細はHPに掲載しています!



☆別科268期受け付け中です!

2018年1月(268)期開講の別科講座は、12月1日より受付開始になりました。(一部除外講座あり) 不明な点は事務局までお気軽にお問い合わせください。

☆中国語本科・本科研究科生募集中です。

全日制で、中国語を学びませんか。1年生、2年編入、本科研究科の学生を募集しています。

別科で勉強されている方、以前勉強されていた方(特別講座のみ在籍の方は除く)は、入学金が半額になります。また実際の本科の授業の見学なども出来ます!講師からの詳しい説明をご希望の方などお気軽に事務局までお問い合わせください。

一次入試: 12月3日(日)

本科研究科は1月21日から

二次入試: 1月21日(日)

三次入試: 2月18日(日)



以降実施月一回程度実施

☆日本語科生在日生募集中です。

すでに日本にいらっしゃる方で日本語の学習を希望される方を募集しています。2018年4月に日本語科へご入学をお考えの方は、一度お電話にてお問い合わせ下さい。

□お詫び 11月号P4の江尻健二先生の訃報にて元副学院長とすべきところ前副学院長、ご逝去日を10月5日とすべきところ10月6日となっております。謹んでお詫び申し上げます。